お手入れガイド　スチームコンベクションオーブン＜A クラス＞

※詳しいお手入れ内容は取扱説明書をご確認ください。

お手入れの前に

●電源を切ってから、お手入れを行ってください。
●手をよく洗ってください。また、ふきんは清潔なものを使用してください。
●プラスチックは、40℃以上のお湯で洗わないでください。変形する場合があります。

重要な毎日のお手入れ

庫内排水口

1 庫内の排水口から庫内にたまった水が排水されているか確認してください。

2 排水されていないときは、配水管内にごみが詰まったり、水漏れしていないか、排水フィルターを外して確認してください。

3 庫内排水口に取り付けてある排水フィルターを取り外して掃除してください。ごみなどで詰まると、エラー発生の原因となります。

ドアパッキン、ドアパッキン当たり面

1 ドアパッキン・ドアパッキン当たり面は、汚れがつきやすいところです。隅々まで掃除してください。

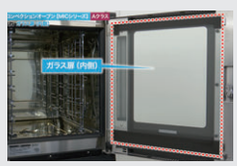
お知らせ

・220℃以上の高温で長時間調理を行う場合は、毎回、使用後にドアパッキンを清掃してください。

・劣化によりひび割れが発生したドアパッキンは使用しないでください。水漏れや蒸気漏れの原因になります。

ガラス扉（内側）

1 ガラス扉の内側や扉露受皿をお手入れする時に開閉します。



2 【開け方】
ガラス扉（内側）を固定している上下のフックを指で押しながら、手前にガラス扉を引きます。

3 ふきんできれいに拭いてください。

4 【閉め方】
ガラス扉（内側）をカチッと音がするまでフックに押し込みます。

お知らせ

・ガラス扉（内側）は、開いた状態で持ち上げるとヒンジから外れ、取り外すことができます。

・ガラス扉（内側）を取り外すときは、落下・傷つきに注意してください。

毎日のお手入れ

外装、操作パネル、ガラス扉、ハンドル

1 外装は、油分、水分、ほこりなどがつきやすいところです。隅々までお手入れをして常に清潔にしてください。

⚠ 使用上の注意

表面が傷つくため、市販のステンレスクリーナーは使用しないでください。

庫内クリーニングの開始まで（標準洗浄モード）

1 ファンカバーやラック棚が正しくセットされていることを確認します。

お知らせ

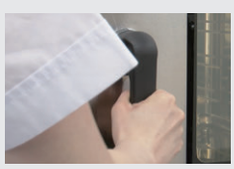
庫内の汚れが激しい場合は、クリーニング前に 10 分程度スチームモードで蒸らし運転を行い、専用洗剤を馴染みやすくさせてください。

2 メニュー呼出ボタンを押し、メニュー表示部を点滅させます。

3 データ設定ダイヤルを回し、標準洗浄を選択します。メニュー表示部に、標準洗浄を示す「CL」が表示されます。

4 データ設定ダイヤルを押します。洗浄モードが確定され、メニュー表示部が点灯に変わります。

5 ガラス扉を閉めてロックされると、庫内ランプが点灯します。その後、スタート / ストップボタンを押します。



6 調理時間表示部に「OPn」が点灯したら、ガラス扉を開けます。庫内温度が 51℃以上の場合、自動でクールダウンを開始します。

7 クールダウン終了後、庫内温度が 51℃未満であれば、調理時間表示部に「CLS」と「dEr」が交互に点滅表示されます。

8 手袋を着用し、スプレーガンで専用洗剤を庫内に吹き付けます。必要に応じて、ラック棚、ファンカバーを取り外し、裏側、庫内ファン、ヒーターにも吹き付けます、

⚠ 使用上の注意

・蒸気導入口に直接洗剤を吹き付けないでください。故障の原因になります。

・ラック棚、ファンカバーを取り外した場合は、定位置に取り付けてください。

9 ガラス扉を閉めて、ロックします。蒸らし運転が開始し、クリーニングが開始されます。

毎日のお手入れ

庫内クリーニング（標準洗浄モード）

1 まず20分間、洗剤をなじませます。このとき、時間表示部に「dEr」と「時間」が交互に表示され、次の 20 分間でスチームにより汚れを浮かせます。

2 工程終了後にブザー音が鳴り、クリーニング運転が終了します。ミトンを着用して、ガラス扉を少し開き、水蒸気、熱気を放出させます。

3 ハンドシャワーで庫内をきれいに水洗いします。ガラス扉（内側）は水を含ませた布で洗浄剤を拭き取ります。

4 ガラス扉を閉めてロックします。自動で乾燥運転が開始します。10分後にブザー音が鳴り、乾燥運転が終了します。

5 操作パネルの運転ボタンを長押しします。ミトンを着用して、ガラス扉を少し開き、水蒸気、熱気を放出させ、その後ガラス扉を開きます。

6 ドアパッキンを、中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布で拭いたあと、水を含ませたふきんで、洗剤分が残らないよう拭き取ります。

お知らせ

クリーニング後、長時間使用しない場合はガラス扉を少し開けた状態で放置してください。

扉露受け皿

1 ガラス扉を開け、ガラス扉（内側）も開けます。

2 扉露受け皿をふきます。汚れがおちにくい場合は、扉露受け皿を外し、市販のブラシを使って中性洗剤で汚れを落としてください。

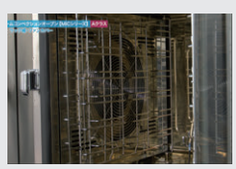
製品露受け皿

1 製品露受け皿を拭きます。

2 コップ一杯の水を流します。

ラック棚、ファンカバー

1 ラック棚やファンカバーは、庫内のお手入れをするときに取り外すことができます。お手入れするときは手袋を着用してください。



2 [取り外し方]
ラック棚を上に持ち上げ、斜めにして引き抜きます。ファンカバーも同様に引き抜きます。

⚠使用上の注意

取り外しは、庫内が十分に冷めたことを確認してから行ってください。

3 [取り付け方]
ファンカバー上部にある穴に、庫内の上部にある突起部を差し込み、下の突起部も同様に差し込みます。

4 ラック棚も同じように上部にある穴に、庫内上部にある突起部を差し込み、下の突起部にも差し込みます。

芯温センサー

1 芯温センサーの本体及びケーブルは汚れがつきやすいところです。隅々まで掃除してください。

お知らせ

ガス仕様の場合は、フィルターにも１日に１回のお手入れが必要です。お手入れの仕方については、次のページをご確認ください。

一か月に 2〜3 回のお手入れ

エアフィルター（ガス仕様の場合は 1 日に 1 回）

1 エアフィルターを手前に引いて取り出します。

2 エアフィルターを水、またはぬるま湯に中性洗剤を入れて洗います。ネットを破らないよう、注意してください。

⚠ 使用上の注意

・エアフィルターを外したまま運転しないでください。
製品にほこりが入り、故障の原因になります。

・エアフィルターは、40℃以上のお湯で洗わないでください。
変形する場合があります。

3 水洗いの後、十分乾かしてから、エアフィルターを製品に差し込み、取り付けます。

⚠ 使用上の注意

エアフィルターの表を上側にして差し込んでください。表裏を誤って取り付けると、製品にほこりが入る原因になります。